

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 ADDS Kids1st荻窪

公表日 2026年3月24日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	個別支援では個室一部屋にお子さん1名で支援が行えるようになっている。	同じ時間枠に4人利用者様がいて、会議や研修があった場合や事務所に人が少なくなってしまうため、時間割を工夫できると良いと思いました。ノカフェスペースが混雑して危ないと感じる時間帯がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	SVの配置等で複数のスタッフがお子さんの発達状況を把握し支援に活かすことができています。	Q1でも記載しましたが、何かあったときに対応できるように予備の人がいると良いなと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	事業所の間取り上、車椅子利用はできませんが、お子さんに応じて環境整備はできていると思います。ノ個室での個別指導がメインであり、個室はお子さんに合わせた空間になるように設置物等も工夫している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	毎日掃除を行っていて、お子さんによって段ボールで隠して気にならないようにしたりなどの工夫ができています。ノ定期的な清掃やその都度安全チェックや環境整備を行なっています。	老朽化は進んでいるので、来年度壁紙張り替え、洗面台の補修等検討したい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	基本的に個室での支援を行っている。ノ個別支援のための個室が確保されています。ノ個室での個別指導が主である	お部屋がmaxで使われている時は難しい時があるとあります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	2	お子さんへの支援に対しては、SVの環境を整っていてほとんどできていると思います。ノ支援については、スーパーバイザーと担当者が複数名いる場合は担当者間で共有されている。ノ定期的な職員同士で振り返りや情報共有をする時間やSVで相談するシステムが整備されています。ノお子さんの発達(課題)については支援記録を取り評価を行い、課題の達成や次の課題設定に活かす仕組みがある。支援プログラム、事業所運営については事業所ごともしくは複数事業所合同での定期的なミーティングを開催し、振り返りと改善を行っている。	自分が現在担っている業務内容以外のことを知る機会が少ない。ノ面談(職員面談)の時期がずれやすかったり、非常勤さんは回数によって面談していなかったり等があるので、もう少しこまめに面談があると良いなと思います。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	率直なご意見を共有いただき、多角的な視点を持って業務改善の取り組みにつなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	ケースミーティングを行えているためノケースミーティングや事業所での会議を行っているが、引き続き工夫していきたい。ノ連絡ツールを使って職員間で密に意見を伝える仕組みがあります。ノ支援プログラム、事業所運営については事業所ごともしくは複数事業所合同での定期的なミーティングを開催し、職員からの意見を活かしながら方針を策定している。	面談や事業所MTGの機会があり、話時間はある一方で、時間の制約があったり話がまとまらなかったりなどがある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		外部機関での第三者評価はこれまでのところ実施しておらず、今後の検討課題としたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	今年度はABA発達支援士※の案内があったり、ケースミートの運用の検討があったり昨年度より充実していると思います。ノ年度毎に衛生研修や避難訓練、セラピーに関する研修等適宜開催されています。 ※ABA(応用行動分析学)に基づいた発達支援の実践に関する民間資格。法人が資格の立ち上げに携わっており、今年度内部向けに受験の案内が行われました。	事業所ごとにカラーや支援方法、視点が変わったりするので事業所間で交換留学みたいな形で支援に入るのも良いなと思います。ノ研修の内容について、支援に関わるものやお子さんの安全にかかわるもの以外にも組織運営に関するものなど今後精査していけるとよい

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	1	お子さんのその都度の発達状況を把握し、SVやスタッフ間で課題プログラムを定期的に確認をしています。また内容については保護者様に共有しています。／独自で開発した課題構成システム(AI-PAC)により、お子さんの発達状況に応じた課題構成を行っている。保護者にも共有し、ご家庭と事業所で同じ内容を進め、記録をつけることができるようになっている。	ベアスを持っていないケース担当の方にも、プログラムや内容についての研修があると、保護者の方への対応や支援への姿勢がより統一されてよいと思います。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	課題については記録をもとに、次ターゲットへの移行を検討している。また、年1回標準化されたアセスメントによる評価も行っている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	ベアスプログラムでは、Vineland-II 適応行動評価尺度にて、アセスメントを実施している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	個別の課題は担当者がSV、時に児発管と相談しながら設定しています。	基本的にはSVと担当者のみで構成されているが、セラピストの暦によっては担当者のみでほとんど構成が行われている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	個別支援のみを利用の場合も、保護者の希望に関わらず課題を定期更新している。／プログラムにもよるが、毎週～2・3ヶ月に1度個別課題を見直ししている。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	ニーズがない場合もあるが、集団活動の枠が限られているため難しい部分もある。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	3	毎回ではないですが環境整備や、対応方法等はケースミーティングで共有できていると思います。／ケースミーティングは毎日行っており、それ以外でも担当間で相談し合える環境である。／担当者が複数いる場合は、勤務の曜日が違う場合も書面での引継ぎを行っている。／支援当日の開始前ではないですが、適宜職員同士でミーティングを行う時間が設定されており、確認事項や情報共有を行っています。／個別指導がメインのため必ず行っているわけではない。複数のスタッフが担当するケースや、集団指導では必ず直接もしくは文面での引きつぎを行っている。／個別支援が主なため、集まって打ち合わせはしていません。定期的にスーパーバイザー、担当者が情報共有しており、それが打ち合わせと役割分担確認にあたると認識しています。小集団クラスが開講される場合は、担当者間で事前打ち合わせをしています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	SVに入っていた日ができると思います。／上記同様にケースミーティングは毎日行っており、それ以外でも担当間で相談し合える環境である。／支援当日の終了後ではないですが、適宜職員同士でミーティングを行う時間が設定されており、確認事項や情報共有を行っています。／毎日ケースの振り返りや報告する時間を設けている。また、支援を振り返り、引き継ぎ事項を書くようにしている。／事前打ち合わせと同じく、定期的にスーパーバイザーと担当者で振り返りをしています。		
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	お子さん支援の課題進捗や様子、保護者様からの相談内容等は記録を行い、課題については記録をもとに達成の判断を行い、次ターゲットを選定している。		

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1		関係機関連携をすることはあるが、お困りごとや利用者から希望があった場合のみなので、全ての人にはできていないと思います。また、その後を追って連携することはあまりありません。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1	就学支援シートを作成し、これまでのセラピーの内容や支援方法の情報を保護者様や学校関係機関と共有しています。	情報共有は希望があった場合でできているが、相互理解は運営上難しいのかと思います。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0	開催される勉強会に参加することがあります。職員が希望すれば参加できるよう配慮しています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	8		短時間の個別支援中心のためニーズがあるかわからないが、そのような機会は持っていない
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	セラピー開始前にお子さんの様子や体調等を確認し、終了時には課題の進捗について保護者様と共有する時間が設定されています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	保護者様がワークとしてABAの知識を学ぶ時間を適宜設定されています。		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		丁寧に説明はできていると思うが、初回契約時に話すことが多すぎるので理解には繋がりにくいのかと思います。別でわかりやすく表にしたり文字が少ない資料を合わせると視覚化されてわかりやすいのかなと思いました。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	プログラムによって月1回程度相談支援を実施したり、希望がある場合はコンサルテーションを実施されています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	先輩/パパママ講演を年に1度行っている。/保護者会はないが、任意参加の研修会で交流を行える機会がある。	相互に会話が多くある交流会のような形は行えておらず、今後検討したい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	2	事業所の通信はないですが、必要なお知らせはメール配信、個人情報に差し支えない範囲で、活動を法人のSNSで発信しています。	法人としてはできていると思いますが、事業所内ではできていないと思います。/法人としてはホームページを活用している。事業所としての発信は今後の課題。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	1		留意していたものの今年度個人情報に関する事故が1件あり、研修や業務改善を行った。今後さらに留意していきたい。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7		行事があまりないものもあるが、地域住民の招待などは行っていない。防犯上の理由や個人情報からの難しい面があると考えている。	
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	毎年適宜研修を実施、受講する機会があります。		
46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	BCP研修を実施、受講しています。		

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	保護者からのご記入に基づいて対応している。／強化子としてご家庭から持参された食べ物を使用する際に、他のお子さんが触れないように保管方法や処理方法等対応法を共有して管理を行っています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		不審者対応等に関して職員の中で研修は行っているが、保護者との共有ができていない部分もあるため今後の課題としたい。／周知が十分かまいちど確認したいです。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	2		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	発生時に所定のフォーマットに記入し全職員に情報共有を行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	適宜虐待研修を実施、受講しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0	身体拘束以外にも、支援の侵襲性が高くないようガイドラインを定め、保護者にも配布している。	